

校長室だより No 3

2017年6月23日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津 健志

林間学校「赤城青少年交流の家からの表彰を受ける」～詳細はHPを～

5年生は6月14日から16日までの3日間、国立赤城青少年交流の家をフィールドに林間学校を実施しました。5年生が立てた目標は「一人一人課題をもって、その場に合った行動をする。協力して絆を深める」です。登山・カレーづくり・キャンプファイヤー・ウォークラリー、そして57時間の日常を一緒に過ごす体験を通して、目標達成に向けて活動を行いました。

「一人一人の課題」という一見個別の課題に見えますが、一日目の生活を通じて、「時間を守る」ということがクローズアップされました。一日目はうかれていたせいか、時間通りに行動できず、さらに私語が目立ち、先生からの注意が重なり、注意する先生も、注意される子供たちも「こんなはずじゃなかった」と

子供の反省会では、「明日は時間を守る」という目標が出されました。そこで先生から「もっと具体的な目標が必要では」と、すると子供たちは「部屋長が〇〇を〇分までに終わらせると指示する」「5分前行動をする」と目標達成に向けた具体策を出しました。先生たちも、夜11時から始まった打ち合わせで、翌日予定のカレーづくりについて、子供たちの具体的な行動目標（時間順守）を達成できるように、子供たちの行動を予測しながら、時間軸の流れを確認し、翌朝を迎えました。

たったこれだけですが、翌朝からの行動は見違えました。朝の集いの参加態度は他校とは違う姿。9時半から始まったカレー作りも、予定通りカレーをしあげるといって課題達成のために、班員が協力して行動する姿。前日に見られた、緊張感散漫な様子がなく、それぞれの班の隠し味が生きた、おいしいカレーが出来上がりました。審査にあたった先生も優劣つけ難い出来栄でした。後片付けもきちんとできました。

この午前中の姿を交流の家の職員が見て、さらに活動を終えた野外炊飯場の様子をチェックして、他団体の手本となる活動ぶりであるとして、最終日に表彰をしてくださいました。全く予期せぬ表彰でした。

この姿は、今年の本校の重点である「やりぬく力を育む」の一つのモデルだと思い、ここに紹介します。

やり抜く力を育むには、「やってみよう！と感じ、どうすればできるか考え、協力して目標達成まで行動する」という3拍子が大切。「時間を順守してカレーを作ろう！、どうすれば時間通りいくか考え、時間内に美味しく个性的に仕上げるために協力する」という3拍子が揃ったからこそその表彰でした。

前日の失敗を乗り越えようとしたことが、さらに力となって結集したと思います。これをこれからの学校生活で生かせるようにしていきます。



土曜授業参観

24日(土)に授業参観と引き渡し訓練を行います。授業参観にあたり、いくつかお願いを申し上げます。前述した「やりぬく力を育む」ためには、毎日毎時間の授業で、「今日は〇〇を勉強する！と感じ、どうすればできるか考え、友達と協力して学習をしめあてを達成する」ことを、数多く経験することが大切です。それに向けて先生方も授業を工夫して準備をしています。前回の授業参観では、廊下で会話をする保護者様の姿が、授業の妨げになっている面がありました。是非教室内で子供の様子と授業の流れをご覧いただきたいと思います。外部人材の活用や、プロジェクトで配置されている先生との共同授業など、普段の様子を見ていただきたいと思います。HPで授業参観のアンケートも行います。「やりぬく力の育成」に向けた前向きなご意見や、積極的な学校支援・授業支援の情報などをお寄せいただくと幸いです。